



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

種目選択授業における学びの深まりと広まり：第5 学年空手・ダンス・体づくり運動の実践記録

メタデータ	<p>言語: Japanese</p> <p>出版者: 東京学芸大学附属国際中等教育学校</p> <p>公開日: 2024-04-25</p> <p>キーワード (Ja): ETYP:教育実践, STYP: 中等教育学校, 体育, 高2</p> <p>キーワード (En):</p> <p>作成者: 白波瀬, 勇太, 谷口, 善一, 橋本, みゆき</p> <p>メールアドレス:</p> <p>所属: 東京学芸大学附属中等教育学校, 東京学芸大学附属中等教育学校, 東京学芸大学附属中等教育学校</p>
URL	<p>http://hdl.handle.net/2309/0002000398</p>

種目選択授業における学びの深まりと広まり

—第5学年空手・ダンス・体づくり運動の実践記録—

Deepening and Expanding Learning in Elective Classes

—Practical Record of 5th Grade Karate, Dance, and Body Building Exercises—

保健体育科 白波瀬 勇太

谷口 善一

橋本 みゆき

要 旨

多くの高等学校では種目選択授業が行われているが、そこで何を学ぶべきかについてはこれからさらに検討していく必要がある。本実践では、単元の終わりに合同の発表会を行うことに主眼を置いて、中等教育学校第5学年を対象に、空手・ダンス・体づくり運動の種目選択授業を行った。自分が選択した種目以外の学習の成果を見合う場面をつくったことで、学びの深まりと広まりを見出すことができた。種目選択授業における豊かな学びの在り方を考えていく上で、一つの可能性を示すことができた。

1章 はじめに

多くの高等学校の体育科では、何らかの形で種目選択授業が行われている。その一方で、生徒の自主性に任せるあまりに、いわゆる「放任」状態になっている様子も見聞きする。つまり、種目選択授業において何を学ぶべきかについて、教師も生徒も意識が及んでいない現状が見られる。

種目選択授業については、横浜市立高校(1992)の実践に見られるように、以前から実践は蓄積されてきている。最近では、佐藤・丸山(2022)の実践において種目選択授業におけるコンピテンシーベースの資質能力の育成などが検討されているように、種目選択授業において学ぶべきことについて検討していく必要性が高まっているように思われる。

本実践では、そのような問題意識のもと、単元の終わりに合同の発表会を行うことに主眼を置いて、中等教育学校第5学年を対象に、空手・ダンス・体づくり運動の種目選択授業を行った。本実践を通しての学びの様子や生徒の感想を整理することで、種目選択授業において学ぶべきことやより豊かな学びに向けた学習の在り方についての可能性を見出すことを目的とした。

2章 種目選択授業の内容

1節 単元の概要

本実践は、令和5年1月から3月にかけて、中等教育学校第5学年(12回生)4クラスを対象に、全16時間の単元を構想して実施した。

表1 単元の流れ

学習内容			
1	オリエンテーション、種目選択		
2～14	空手	ダンス	体づくり運動
15, 16	合同学習発表会		

2節 空手の授業実践

空手では、基本技術や礼法を身につけ、技ができる楽しさや喜びを味わえることをねらって学習した。単元の前半は伝統的な行動の仕方を守りながら、昨年度実施した基本形一と、新たに基本形二を学習した。さらに、2人組で決められた攻撃と受けを行う「約束組手」の技術を習得する学習を行った。単元の後半は、各グループで技を組み合わせた演武を創作する活動を行った。グループ全員での基本形演武、2人組での受け返しや連続技を使った約束組手など、構成を考え練習した。

3節 ダンスの授業実践

ダンスでは、単元の前半は主に創作ダンスを行い、イメージをもとに身体を動かす楽しさを味わえることをねらって学習した。単元の後半は、発表会に向けてのコンセプトを考えて、それをもとに各クラスでプログラムを構成し、各グループでの創作ダンス・リズムダンス・フォークダンスの練習を行った。

時	2～8	9～14
学習内容	自己紹介ダンス、タッチ&エスケープ、人間生け花、出会いと別れ、〇〇の一生	発表会に向けたプログラムづくり、各グループでの練習



4 節 体づくり運動の授業実践

体づくり運動では、単元の前半は長縄や短縄を音楽に合わせて跳ぶリズム縄跳びを、単元の後半はエアロビクスダンスと発表会に向けた創作や練習を中心に行った。構想は、基本的に生徒たちに考えさせた。グループでの活動はできるだけクラスや男女が混合となるようにグループ分けを行った。また、演技に用いる技や運動については、危険なもの以外は制限しなかった。生徒の思考が偏ってしまうことのないよう、例示や教師からの説明は必要最低限に留めた。

時	2～8	9～14
学習内容	長縄や短縄の練習、リズム縄跳びの創作と発表	エアロビクスダンス、発表会に向けたプログラムづくりと練習

3 章 発表会の内容

令和5年3月15日(水)、3種目合同での体育科学習発表会を実施した。発表会では、それぞれのクラスで特に力を入れて取り組んだ学習内容や見どころを代表の生徒が紹介した後に、10分～15分程度にまとめた作品を各クラス・種目ごとに発表した。

空手では、基本形一・基本形二に加えて、組手の動きをチームで考えて創った創作組手を披露した。まるで相手が目の前にいるかのような力強い演武で、見ている生徒からは驚きの声があがっていた。

ダンスでは、「出会いと別れ」といった抽象的なイメージを表す創作ダンスや、机や傘などの道具を効果的に用いながらリズムに合わせて踊るリズムダンスなどを披露した。目線や空間の使い方を意識し、独創的な表現が数多く見られた。

体づくり運動では、「リズム縄とび」と「エアロビクスダンス」を披露しました。長縄とびと短縄とびを効果的に用いたり、会場を巻き込んでみんなでエクササイズをしたりと、楽しく取り組めつつも体力が高まりそうな運動を考えて発表した。

今回の発表会において友達同士でお互いの発表を見合ったことで、自分が選択しなかった種目の魅力や面白さを見つけられたようだった。また、みんなで協力して一つのものをつくりあげる過程を通して、様々なことを学んだ様子が見られた。





- 目的**
- ① 3学期に体育科で学習してきた成果を発表し合い、お互いの学習の成果を認め合う。
 - ② 各種目の演技を見ることで、それぞれの種目の魅力や面白さを見つける。
 - ③ 準備の過程も通して、集団として物事に取り組むことの大切さや意義について考える。

日時・場所 3月15日(水) 5・6時間目 (13:20~15:10) @第2体育館 SHR 後、13:20に集合完了

プログラム ☆各演技の後に感想発表(2~3名)

①はじめに(谷口先生)

②1,3組空手(谷口先生)

基本形Ⅰ→基本形Ⅱ→約束組手1~8

③2,4組体づくり(藤山先生)

リズム縄跳び(ブンバポーン!)→エアロビクスダンス(ジャンボリミッキー)→エアロビクスダンス(Dynamite)

④2,4組ダンス(白波瀬先生)

創作ダンス(オブジェをつくろう/出会いと別れ)→ソーラン節→リズムダンス(グループ/全員)

休憩(10分間)

⑤1,3組体づくり(藤山先生)

エアロビクスダンス(ともに)→リズムなわとび(Make you happy)→エアロビクスダンス(チグハグ)

⑥2,4組空手(橋本先生)

基本形Ⅱ→チーム演武(1)→チーム演武(2)→基本技手技

⑦1,3組ダンス(白波瀬先生)

創作ダンス(〇〇の一生/出会いと別れ)→リズムダンス(グループ/全員)

⑧全体を通しての感想発表(各クラス代表者1名)

⑨まとめ(橋本先生・白波瀬先生・藤山先生)

4章 単元を終えての生徒の感想

以下に示すような単元を終えての生徒の感想を読むと、今回の発表会を通じて学びの深まりや広がりが見られている様子が見られる。たとえば、お互いの学習成果を見合う機会を設けたことで、友達の動きのよさやそれぞれの種目の魅力・特性を感じ取れている様子が見られる。また、自分が取り組んだ種目とそうでない種目の共通点や相違点を見つけることで、どの種目にも活かせる汎用的なスキルや考え方に迫ることができている。このように、自分が選択した種目以外の学習の成果を見合う場面をつくったことで、生徒の中に学びの深まりと広まりを見出すことができた。

②他のチームの発表を見て、友達やほかの種目のどんなよさや魅力に気づきましたか？
 空手は、動きが速いという点では、共通しているけれど、動きが体の音階位や
 習得する方法が全くら違って、おもしろいと思った。空手は、独特な
 体の動きで、リズム感、無駄がなく、合理的な動きをしている
 おもしろいと思った。体操も単純で、わかりやすいとて、合理的
 と思った。

②他のチームの発表を見て、友達やほかの種目のどんなよさや魅力に気づきましたか？
 他のチームは、メンバーが違っても内容も雰囲気もがらりと変わっていて
 2回生1人1人でそれぞれの個性を合わせて作ったダンスや、シンプル
 だからこそ迫力の感じられる空手を見て、何かを1人(個人)ではなく仲間と
 形にできる魅力に気づいた。

②他のチームの発表を見て、友達やほかの種目のどんなよさや魅力に気づきましたか？
 自分たちの曲は音楽のリズムに合わせて跳ぶことと、テーマソングを取り入れること、元の曲の
 特徴的なダンスを生かして跳ぶことを意識していたが、同じようなことをしていたチームが
 エモいという点、観客が楽しめるような曲選びやそれに合わせたテーマソングを取り入
 れていて工夫の仕方を知ることができた。自分たちが同じ道具を用いた行動をしていた
 けれど、自分たちの工夫は、創造する方法は多様であることを学んだ。

②他のチームの発表を見て、友達やほかの種目のどんなよさや魅力に気づきましたか？
 エレクトロニックやリズムは音楽に合わせて体の動きが速いという点においてダンスと似ているもの
 の、そこにストリートダンスなどの運動が合わさっており、楽しめながら体の動きが速いことを
 体験できた。空手はダンスや体操よりも全体的に、厳格な雰囲気の中、動きのキレ意識
 が高くて、仲間や個人で精神を統一することも大切だと感じた。

5章 まとめ

本実践では、単元の終わりに合同の発表会を行うことに主眼を置いて空手・ダンス・体づくり運動の種目選択授業を行い、学びの様子や生徒の感想を整理した。発表会での学びの様子や生徒の感想に見られるように、自分が選択した種目以外の学習の成果を見合う場面をつくったことで、どの種目にも活かせる汎用的なスキルや考え方に迫る姿が見られるなど。生徒の中に学びの深まりと広まりを見出すことができた。

今までの種目選択授業の実践では、それぞれの種目に分かれた後に再度集まったり学習成果を共有したりすることはあまり多くなかったと思われる。本実践を通して、自分が選択した種目以外の学習の成果を見合う場面をつくることにより、種目選択授業の新たな学びの可能性を示すことができたと考えられる。今後は、他の学年や種目でも実践を重ねるとともに、生徒の学習成果についてより具体的にデータをとり、因果関係を明らかにすることが求められる。

引用・参考文献

- 横浜市立高等学校保健体育研究会(1992), 選択制の体育授業を創る～横浜市立高校 13 校の挑戦～, 大修館書店.
- 佐藤健太・丸山実花(2022)種目選択制授業における個別最適な学びと協働的な学び. お茶の水女子大学附属高等学校研究紀要 68, 41-65.

Deepening and Expanding Learning in Elective Classes

— Practical Record of 5th Grade Karate, Dance, and Body Building Exercises —

Abstract

Many high schools offer elective classes, but we need to further consider what students should learn in these classes. In this practice, we focused on holding a joint presentation at the end of the unit, and we conducted selective classes in karate, dance, and body-building exercises for fifth-year secondary school students. By creating a situation where students could compare their learning results in areas other than those they had chosen, We were able to deepen and expand their learning. We were able to demonstrate one possibility when considering ways to enrich learning in elective classes.